



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

11月 結婚記念日 おめでとうございます

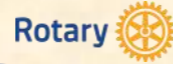
11月 1日 清水一人会員ご夫妻
11月 4日 立花英司会員ご夫妻

11月 1日 中井政嗣会員ご夫妻
11月 6日 原田直己会員ご夫妻

数井康幸 会員



毎月最初の辰の日の朝に、住吉大社へ「初辰まいり」を7年間続けています。
「初辰まいり」とは、商売や家庭の発達繁栄を祈るお参りで、住吉大社の境内に隣接する4つの社「種實社(たねかじしや)」「楠垣社(なんくんしや)」「浅澤社(あさざわしや)」「大蔵社(おおとししや)」を順に参拝して、商売繁盛と家内安全を祈願する大阪商人に古くから伝わるならわしの一つです。4年を一区切りとして、四十八回参拝すれば満願成就となります。これは、四十八辰(最終発達)とするという意味からきたものです。お参りする回数月数は左手



Vol. 20

「テーマ 初辰まいり」

世代を紡ぐ
インタビュー

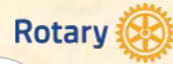
(人招き)を、偶数月は右手(お金招き)を挙げた子猫の招福猫を授かり、区切りである四十八体揃いと満願成就となり、中型の招福猫と交換していたとき、また4年間続けて左右の中型招福猫となり、さらに4年で大型の招福猫をさずかることができます。つと一年で大猫です。で、左右の大猫を揃えるのに二十四年かかります。お参りとの出会いは、不況が続いた平成十九年に独立し、がむしゃらに働きやと落ち着いた方からの勧めで、一度お参りしたところやめられなくなりました。

これまでも、経営上の様々な課題・問題があり、考えふけることもありませんでしたが、いつも人との出会いがあり乗り越えることができました。この機会をいただいた事への感謝の気持ちを伝える気持ちで毎月お参りを続けています。これからの、この尊厳への感謝の気持ちと、商売をさせて頂いている謙虚な気持ちを忘れないために初辰まいりを続けていきたいと思います。

北田好文 会員



大阪難波ロータリークラブに入会させて頂いて早や三十年目。クラブ内では、最初は友好委員として親睦を深めるように心掛けた、それから委員長として職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・クラブ奉仕・友好委員長・幹事・会長とすべての役職を全う出来たと感じて居ります。



Vol. 21

「テーマ 私と難波ロータリークラブ」

世代を紡ぐ
インタビュー

ているのは秋のライラで実行委員長として学生たちと関西大学のキャンパスでオリエンテーションを行ったこと、四十周年記念の実行委員長として三姉妹クラブと近隣のロータリークラブと合同で周年記念例会を催し、大盛況に終えたことです。

を豊かにするもの、工夫は人生を楽しくするもの、行動は道を開くもの、「人生は感動を求めて歩く旅である。咲いた花見で喜ぶよりも、花を咲かせて人を喜ばせたい」と言う様にロータリーで人生を生きていくことを学んだ様な気がします。これからの大阪難波ロータリークラブの益々のご繁栄を祈ります。

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>11月19日(木) テーマ ロータリー財団月間卓話 「ロータリー財団とコロナ禍」 卓話者 相馬康人地区ロータリー財団委員会委員 卓話担当者 中川静夫委員長</p>	<p>11月26日(木) テーマ 「障害者の就労支援と私 ~共に世界を広げたい~」 卓話者 古川秋恵様 卓話担当者 米澤勉会員</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第18回例会 本日のプログラム

- 開 会 (点鐘) 通算第2108回例会
- ・ロータリーソング 「それでこそロータリー」
 - ・ソングリーダー 本間一成会員
 - ・来客紹介 友好委員
 - ・ストレッチ

会 食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 川口栄計会長
- ・幹事報告 福田 忠幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 SAA
- ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にや おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローロー ロータリー

ニコニコ箱報告

前回の合計	¥150,000
本日までの累計	¥1,319,500 (79%達成)
11月末の予算額	¥1,660,000

出席報告

前回	11月12日	3週前	10月22日
会 員 総 数	58名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率67.92%	
出 席 会 員 数	38名		
出 席 率	73%		

これからの予定

- 11月26日(木) 例会
- 12月 3日(木) 例会・年次総会・定例理事会
- 12月10日(木) 例会
- 12月12日(土) 地区大会 於：グランキューブ大阪
- 12月17日(木) 例会
- 12月24日(木) 例会・クリスマス家族会

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：川口栄計 幹事：福田 忠 会報・雑誌委員長：三島敏宏 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

11月は「ロータリー財団月間」です

前回の記録 第17回例会 11月12日(木)

★来客紹介：三島友好委員

米澤会員のゲスト
古川秋恵様



★会長報告：川口会長

- こんにちは。本日の例会の会長報告を行います。まず、ガバナーノミニール・デジグネートに大阪中央RCの辻川功一氏が選出されましたのでご報告申し上げます。
- 先週の7日(土)には、「秋の松茸狩り」に行っていました。美味しいすき焼きを沢山いただき、会員の家族の皆様と楽しい時間を過ごさせて頂きました。森友好委員長お疲れさまでした。
- そして明るく8日(日)には「ローターアクトクラブを知っていただく懇親会」が開催され、62名、平均年齢22歳の若人が集まり、大盛況でした。2月の創設に向け、素晴らしいスタートが切れたと思います。RAC設立準備委員の皆様、サポーターの皆様、お疲れさまでした。感謝申し上げます。
- さて本日の「ロータリアンの足跡」は、東京RCのチャーターメンバー星一(ほしはじめ)氏であります。星製菓の創業者であり、星薬科大学の創設者であり、モルヒネの国産化や湿布薬イチヒオールの事業化に成功し、当時、東洋の製菓王とまで言われた人物であります。また野口英世のパトロンとしても有名です。しかしながら私が今回、彼を題材に選んだのは、実は彼こそ小説家、星新一のお父さんだからです。私は小学生のころ、国語が苦手な文章力も無く、担任に勧められ、読書と感想文を書いておりましたが、推奨される著名文学は面白くなく、SF小説や推理小説ばかり読み漁っておりました。彼が書くショートショートSFは大変読みやすく面白いものばかりでした。あと筒井康隆やアサー・C・クラークなどのSFやアガサ・クリスティや赤川次郎などの推理小説を読破しましたが、このような題材で感想文など書けず、注意ばかりされていた思い出があります。話は戻りますが、星製菓は、星一の逝去前後から経営不振になり、星新一自らも社長に就任しました。しかし経営再建できず、仕方なく他社の救済を受け再建しますが、星製菓自体は形骸化します。これを機に星新一は小説家に転身したのです。思い出深い小説が、この年でロータリークラブの歴史を紐解いているときに再発見するとは、不思議なものです。

★幹事報告：福田幹事

- 本日の週報に、定例理事会の議事録を掲載させていただいておりますので、ご確認ください。
- 本日メールボックスに、先週の理事会で承認されました次々期会長、次期理事候補者のご通知を画面で入れさせて頂いております。ご確認ください。
- 11月16日(月)段為梁様の偲ぶ会が難波御堂筋ビルディングで行われます。当日は多数の弔問客の方がお見えになることから、大阪難波RCと致しましてはPM3:00に難波御堂筋ビル前に集合してご参加したいと思っております。
- 例会場変更のご案内です。来週11月19日の例会は7Fで行いますので、宜しくお願い致します。
- 2019-20年度ガバナー月信最終号が届きました。昨年度の理事役員の方へお配りさせていただいております、

受付にも置いておりますのでご一読ください。

★委員会報告

◇クラブ会報・雑誌委員会：秋山会員

「ロータリーの友11月号のご紹介」

横P3 RI会長メッセージ

大切なのはどの新会員もクラブと自分が合っていると感ずることです。ロータリーは多様性を通じて機会の扉を開きます。

横P18~27 どうなった例会

新型コロナウイルスが、国内のロータリークラブの活動に与えた多大な影響について、アンケートを取りました。各クラブ様々な工夫をしていますが、色んな問題点も見えてとれます。

縦P 13 卓話の泉 「色彩の効果」

色には人の心や体に影響を及ぼす作用があります、身近な生活の中にも取り入れられるので、ぜひ実践してみてください。

◇友好委員会：森委員長

12月24日(木) クリスマス家族会を開催させて頂きました。ゲストに大橋純子さんをお迎えします。本日ビデオレターを頂いておりますのでご覧ください。ご家族の皆様もご参加お待ちしております。また、今年もプレゼント抽選会を予定しておりますので、ご協力よろしくお祈りします。

★ニコニコ箱報告：森田副SAA

川口栄計：ローターアクトを知る懇親会、林委員長、西原会長エレクト、中川博之委員長、福田幹事、サポーターの皆様大変盛況で良かったです。ありがとうございました。

川口栄計：秋のまつたけ狩り、森友好委員長お疲れ様でした。ありがとう。

福田 忠：松茸狩り、森友好委員長、清水会員お世話になりました。ローターアクトを知っていただく懇親会、お手伝い頂きました皆様ありがとうございました。西原会長エレクト、林RAC設立準備委員長、二次会ありがとうございました。

北橋茂登志：松茸狩りありがとうございました。本日卓話です。よろしくお祈りします。

北田好文：11/7マツタケ狩りにて、森友好委員長に感謝。又、川口会長お土産有難う御座居ました。11/8RAC設立準備会、中川博之会員の企画力にびっくり。林青少年奉仕委員長の今後の活躍に大いに期待しています。

北田好文：家内誕生日祝。結婚50年です。

白野陽一：松茸狩り、会長、幹事、友好委員長大変お世話になりました。

菰田吉見：妻の誕生日にきれいなお花をお送り頂きありがとうございました。欠席お詫び。

石川益三：ローターアクトクラブ設立初期メンバー募集の会合が11月8日(日) スイスホテルで開催され60人程の若者が集まりました。川口会長、福田幹事、西原会員、林会員を始め中堅若手のメンバーが世話係をしてくださいました。大阪難波ロータリークラブ提唱のローターアクトクラブがあと一歩でできると胸がいっぱいになりました。谷口先生と簡ガバナーがローターアクト出身だと話題になりました。難波ローターアクトのメンバーから多くのロータリアン、そしてガ

バナーが生まれるか、夢見て楽しいひと時でした。多くのメンバーに感謝です。
岡西豊博：まつたけ狩りでは川口会長ごちそうになりありがとうございました。福田幹事、森委員長お世話になりました。

西原芳博：RACの説明会、大盛況で終え、とりあえず一安心！中川博之会員、仕切り素晴らしかったです。

林 博之：ローターアクト懇親会、大成功でした。お手伝いいただいたすべての方々に感謝申し上げます。締め挨拶最高でした！

松浦孝尚：松茸狩り、森友好委員長、福田幹事、お疲れ様でした。川口会長、ごちそうさまでした。ありがとうございました。

中川静夫：松茸狩りでは、一日楽しく過ごさせて頂きました。会長、幹事、森友好委員長、ありがとうございました。やはり友好行事は楽しいですね。

米澤 勉：川口会長、福田幹事はじめ森友好委員長、秋の家族会の松茸狩りでは大変お世話になりました。有難うございました。

松田禎胤：松茸狩りとても楽しませていただきました。川口会長、福田幹事、森友好委員長、大変お世話になりました。

森田 納：RAC準備委員会懇親会、Wひろゆき委員長お疲れ様でした。中川さんの完璧なプレゼンテーション、林さんの心を揺さぶる感動の挨拶、大変勉強になりました。

森田 納：松茸狩り、森友好委員長、ありがとうございました。川口会長、福田幹事、お土産ありがとうございました。

森 圭司：11/7松茸狩り、皆様沢山のご参加ありがとうございました。川口会長、お酒の差し入れ、お肉の追加、お土産の栗、大変ありがとうございました。

清水一人：松茸狩り、森友好委員長ありがとうございました。川口会長ごちそうさまでした。

上杉竜太郎：先日のRAC懇親会、西原会長エレクト、林委員長、中川博之会員はじめ皆様お疲れ様でした。大変良い刺激をいただき勉強になりました。有難うございました。

右田竹郎：川口会長、福田幹事、森友好委員長、先週の松茸狩り大変お世話になり、ありがとうございました。

鉄崎 薫：例会欠席のお詫び。

三島敏宏：松茸狩り、秋の家族会で川口会長、福田幹事、森友好委員長をはじめ皆様大変お世話になりました。

池畑邦央：前回欠席のお詫びとして。

本間一成：コロナ第3波、皆様ご自愛の程。

中川博之：11/8 RAC懇親会お疲れ様でした。当日サポート下さった白野会員、森田会員、安部さん、ありがとうございました。又、ご参加下さった谷口会員、北田会員、石川会員ありがとうございました。

本日の卓話者

相馬康人(そうま やすひと)氏

昭和46年6月19日生まれ 49才

社会福祉法人 養珠会 専務理事

職業分類 社会福祉

ロータリー歴

2016年10月5日 八尾ロータリークラブ入会

2017-18年 クラブ広報副委員長

2018-19年 クラブ広報委員長

2019-20年 副幹事

2020-21年 理事 職業奉仕委員長

地区ロータリー財団委員会 委員

★卓話

テーマ 「題名のない卓話」
卓話者 北橋茂登志会員

今日の卓話は、私の子どもの頃から今日までの話をさせてもらいます。その前に、父(北橋茂男氏)が商売を始めた時のことをお話しさせていただきます。父は石川県の能登の生まれで、3歳の時に母を亡くし、貧しい環境で男手一つで育てられました。小学校卒業後には大阪へ下り、稚奉公に出ましたが、体調を崩し一旦地元に戻った後、食の重要さに気付き、東京の洋食屋へ見習いに出ました。その後、大阪の本町のパン屋の2階に料理長として迎えられ、3年後の1922年(大正11年)の23歳の時に現在のJR難波駅近くに洋食店「パン屋の食堂」を開業しました。当時、洋食自体が珍しく、ナイフとフォークを使った食事などほとんど見られなかったこと、かけうどん1杯(10銭)と同じ値段という安さで大変繁盛しました。昭和初期になると、店舗数は24店舗、従業員数550人、一日の最高来客数が35,000人を誇る規模となりました。余談ですが、売り上げを回収するのに、立派なカバンだといかにもなので、あえて南京袋を使い集金をしていました。父は、30歳の時に地元の能登の小学校に校舎、中学校に体育館を寄贈し、先の大戦では、ゼロ式戦闘機(北極星号)1機を寄贈し、当時の東条英機陸軍大臣と嶋田繁太郎海軍大臣からの感謝状をいただきました。この当時のことは、11/30(父北橋茂男の足跡)・12/1(北橋茂登志のオムライスチェーン化)のMBSラジオの「ありがとう浜村淳です」のファミリー劇場(朝9:25頃)にて放送されます。

私の子ども時代は、2,500坪の豪邸にお手伝いさん2人、男衆1人が住み込みでおり、通学するのもすべて送り迎えでした。しかし、小学校3年生の時に、戦争が激しくなり、能登に疎開することになりました。そこでは、激しいイジメに合い、殴る・蹴るは当たり前でした。病弱であったので克服するために柔道を始め、羽咋高校時代、県内で3人しかいない2段に昇級し、地元では試合ですぐに人を投げ飛ばすので「餅つき北橋」と呼ばれていました。金沢大学より推薦の声がかかりましたが、コックに大学は必要ないと、父に諭され進学を断念し18歳で精養軒に見習いに行きました。修業時代は、朝5時から夜8時までぶっ通しで働き、休みは月に2日だけありました。当時のコックは、中学卒業後に修業に出るのが当たり前で、高校卒業の私は、遅れた3年分を取り戻すために、がむしゃらに修業に励み、その後、日活国際ホテルや紅花で腕を磨きました。

難波RCについてお話しします。何度か大病を患っており、遠藤先生に専門の先生をご紹介いただいて今があります。事業でありますオムライスチェーン展開もロータリーの会員の方からアドバイスいただきました。今の私があるのは、本当にロータリーのおかげだと思っており、まだまだ教わることが多いと思っています。最後に、私のお店で話題になっている現代の風刺「(18歳)と(81歳)の違い」を紹介したいと思います。

- 恋に溺れるのが18歳 風呂で溺れるのが81歳
- まだ何も知らないのが18歳 もう何も覚えていないのが81歳
- 心がもろいのが18歳 骨がもろいのが81歳
- 道路を暴走するのが18歳 逆走するのが81歳
- 偏差値が気になるのが18歳 血糖値が気になるのが81歳
- 自分探しの旅をしているのが18歳 出掛けたままわからなくなつて皆が探しているのが81歳
- 「嵐」というと松本潤を思い出すのが18歳 鞍馬天狗の嵐寛寿郎を思い出すのが81歳
- 受験戦争を戦っているのが18歳 アメリカと戦ったのが81歳
- 東京オリンピックに出たいと思うのが18歳 東京オリンピックまで生きたいと思うのが81歳

